

熊本へ募金募る 好間一小

いわき市の好間一小で開かれた運動会で、児童が応援に訪れた保護者らを回り熊本地震への義援金を募った。JRC委員会を中心に、子どもたちが手作

りの募金箱を持ち大きな声で協力を呼び掛けた。

集まった義援金は今後、日赤県支部を通じて被災地の支援に役立てられる。



義援金を呼び掛ける児童—好間一小

エイサーでいわきに元気

熱戦が繰り広げられた騎馬戦

東京の団体演舞

エイサーで笑顔や元気を届けようと、東京都のエイサー団体などが14日、いわき市を訪れ、力強い沖繩のエイサーと沖繩獅子の演舞で市民らを勇気づけた。15日も市内各地で演舞が披露される。

復興支援として2011(平成23)年から年に1度行われている。今回は「いわき応援エイサー2016」と題し、東京都中野区の東京中野真南風エイサーと新沖繩獅子研究会、東京都世田谷の和光青年会の3団体が訪れた。

14日は新沖繩獅子研究会と和光青年会が、同市好間保育所やJRいわき駅前のラトブなどに登場した。運動会が開かれた好間一小の校庭にも訪れ、和光青年会のメンバー約20人が息の合ったエイサーを踊った。新沖繩獅子研究会が扮する沖繩獅子が登場すると、児童から歓声が上がった。15日は豊間、薄磯、久之浜の各地区を巡るほか、同市の修徳院で慰霊のエイサーが披露される。



好間一小で力強いエイサーを披露した和光青年会

好間一小児童 ハッスル 運動会

好間一小の運動会では、児童が保護者の声援を受けながら、元気いっぱい校庭を走り抜けた。

今年のスローガンは「紅と白 仲間とともに 最後まで」。全校児童約330人が応援合戦や大玉送り、紅白玉入れなど22種目を行った。5、6年生による騎馬戦では、相手騎手の帽子を奪おうと熱戦が繰り広げられた。保護者らはビデオカメラやカメラを手に声援を送りながら、わが子の成長した姿を収めていた。

会場では同校JRC委員会の児童が熊本地震の被災者を支援しようと義援金を集めた。

